

『東区 E 産探求プロジェクト事業

第 1 回まちあるき北国街道コース』 参加レポート

開志専門職大学 富田悠大

令和 7 年 9 月 27 日に開催された「東区 E 産探求プロジェクト事業 第 1 回北国街道コース」に学生記者として参加させていただきました！今回はゼミの学生 3 人で学生記者として体験し、学びや気づきをまとめて記事としてレポートします！

私は燕市の出身で、正直、東区にはほとんど訪れたことがなかったので、「東区って何があるのだろう？」という疑問もいっぱいでした。

友達と「どんな発見があるんだろうね！」と話しながら、期待と不安が入り混じった気持ちで当日を迎えました。

「東区 E 産探求プロジェクト」のまちあるきとは？

今回参加した「東区 E 産探求プロジェクト」のまちあるきは、東区の産業の発展を支えてきた産業遺産などの過去の歴史から現在について、まちあるきを通して知ってもらおうという企画です。この事業は昨年から始まり今年で 2 回目の開催となり、ガイドや地域の人の話を聞きながら、普段見過ごしがちな産業遺産や名所を巡ることができます。今回は地域の歴史編として、実際に歩き、五感で感じることで地域の魅力がたくさんあると知り、感動しました！

発見の連続！「まちあるき」は本当に楽しい！

北国街道沿いには昔の港や市場跡、レトロな建物がたくさんあり、歩くたびに「ここは昔すごくにぎやかな市場だったんだよ」というガイドの話から当時の暮らしとのギャップがあり、とても驚きました。神社やお寺の写真を撮ったり、気になったことを質問したり、終始「楽しい！」という気持ちが続き、まさに発見の連続でした。

今回は東区のたくさんの魅力に出会い、その中でも私が特に印象に残った場所を 3 つ紹介します！

No.1 悉地院



(左上：悉地院…画像①)

右上：四国八十八ヶ所御砂巡道靈場の入り口…画像②)

(左下：靈場内の写真…画像③ 右下：靈場内の写真…画像④)

1つ目は「悉地院」です。画像①は「悉地院」を正面から撮った写真です。「悉地院」は四国八十八ヶ所巡りを模したミニ靈場が設けられているお寺で、街の歴史を感じができるスポットです。四国 88ヶ所のそれぞれのお寺を表したお地蔵様が並んでおり、デザインがどれも細部まで作られていることから繊細な技術と当時の信仰の深さが伝わってきます。お寺の雰囲気はとても落ち着いていて、まちあるきの途中で心をリセットできる場所でした。こうした歴史的なスポットが街中にあることで、地域の豊かな文化や信仰の営みが今も息づいていることを実感できました。人々が昔から大切に守り続けてきた場所として、まちあるきの中でも特に印象深い場所となりました。

No.2 今代司酒造





(左上：今代司酒造の写真…画像⑤ 右上：今代司酒造のソフトクリーム…画像⑥)

(左下：地酒ガチャの写真…画像⑦ 右下：2等の今代一の写真…画像⑧)

2つ目は「今代司酒造」です。1767年(江戸時代/明和4年)に創業し、250年以上の歴史を誇る老舗の酒蔵です。元々は旅館業や飲食業も営んでいましたが、明治時代から本格的に酒造りを始めました。新潟の発酵食品の町として知られる沼垂地区に蔵を構え、伝統を大切にしながら、現代のお客様に合った新しい地酒の楽しみ方も提案しています。酒蔵の中を見学しながら、地域の歴史や酒造りのこだわりが印象的でした。

また、店舗内には「地酒ガチャ」という面白いものがあります！1回500円で挑戦でき、出たカプセルのコインによって地酒が当たるというガチャガチャです。私も思わず引いてみたところ、2等の「今代一」を当てることができました！この予想外の嬉しさは格別で、みなさんも「今代司酒造」に行った際には、ぜひ地酒ガチャを楽しんでみてください！きっと素敵なお出会いがありますよ！

No.3 薬師庵



(左：木造薬師如来座像の石碑とお地蔵様…画像⑨ 右：薬師庵の中にある相撲の土俵…画像⑩)

3つ目は「薬師庵」です。松崎の「薬師庵」は、米山、高森と並び越後三大薬師の一つに数えられています。本尊の木造薬師如来座像は高さ 86 cm、檜の一木造で、平安時代後期に作られ、新潟市東区で唯一の新潟県文化財に指定されています。残念ながら今回は如来座像の周りには柵のような壁が設けられていて、隙間から拝観する形になりましたが、それでもその迫力には思わず息をのむほど感動しました！

また、「薬師庵」の隣に土俵があり、相撲大会は近郷の力自慢の他、実業団の相撲部も参加して、盛大に行われました。昭和 47 年には松崎の女性による相撲踊りが行われ、その観覧に約 2,000 人の人々が集まったという歴史があります。歴史や文化だけでなく、スポーツの面でも地域に根付いた場所なのだなと実感しました！

学生目線で実感できる地元の魅力

「まちあるき」の楽しさは、友達や地域の方と歩きながら色々な話を聞いて、休憩時間にはお弁当を囲んでワイワイできることも大きいです。学生の間で「東区ってこんなに面白いんだ！」と盛り上がり、終了後も「また参加したい！」という声がたくさんありました。東区 E 産探求プロジェクトのまちあるきは、普段の生活では見えない地元の魅力を見える、とても貴重な体験でした！

まとめ

まちあるきに参加する前は、東区をほとんど訪れたことがなく、「東区って何があるんだろう？」と正直イメージが沸いていませんでした。ですが、街歩きを通じて、寺や神社が町のいたるところに点在していることや、車が行き交う日常の道路ですら歴史と繋がっていることに気が付きました。街を歩きながらその歴史を教えてもらうたびに、東区は「歴史が溢れている場所」であり、歴史無しには東区の魅力を語れない場所だと実感できました。地元の人たちが大切にしてきた産業や文化の歴史があってこそ今の東区なのだと感じ、東区への見方が大きく変わりました。

初めて東区の歴史に触れ、東区をより深く好きになるきっかけとなった E 産探求プロジェクトのまちあるき。みなさんもぜひ参加して、私と同じような感動と発見を味わってほしいです！

最後まで読んでいただき、ありがとうございました！